

津田塾大学に現存する昭和初期RC造大学寄宿舍について

正会員 八木真爾* 三宅奈美**

佐藤功一 大学寄宿舍 歴史的建築物

1. はじめに

昭和初期に建設された鉄筋コンクリート造の大学寄宿舍で、現在も同用途で利用されている寄宿舍は限られる^{注1)}。本稿では、その一つとして津田塾大学の寄宿舍(写真1)について、実施設計図面(津田塾大学管理課所蔵)と現地調査を主とし、参考文献1)~4)を参照し報告する。

2. 実施設計図にみる施設計画

2.1 建物概要・配置・平面計画

表1に建物概要を示した。関東大震災以前に移転先として土地取得をしていた現キャンパス内に建つ同一平面の寄宿舍2棟で、設計は大学本館と同じ佐藤功一である。

配置図(図1)には、キャンパス北西に同平面の4棟が四角形に配置された寄宿舍領域が示されている^{注2)}。現存2棟は南側2棟である。北側用地には、異なる平面での新築・改築がなされ、現在1棟あり、計3寮である。

2棟の地上階平面は同一である。一方に地階(電気室、ボイラー室)がある。寮室の他、食堂、社交室、和室、ロビー、水回り諸室で構成され、片廊下式のコの字型配置とすることで、寮室は原則南向きとしている(図2)。

2.2 外観・内外装

窓にコーニス状の庇がある他は平な壁と四角の窓のみで構成されている。寮生は第一印象を「何処からから見ても黄色かつた。高かつた。四角かつた。硬かつた東寮、西寮、(筆者省略)元よりしょう酒とは認めぬがあく迄質実剛健。かく外観の一瞥に於てふと創設者の面影を偲得る時我と我が襟正すべきものあるを知った。」と記している^{注3)}。外装は、庇も含め人造石洗出(錆御影)だった。「黄色」とは錆御影の茶色によると思われる。

主な内装は、床が縁甲板、壁天井が漆喰により均一に仕上げられており、装飾的要素は、壁天井隅部の小さな繰り型に限られている。玄関・広間・主階段・社交室・食堂には、華やかさは見られるが抑制されている。

2.3 構造計画

配筋図、梁柱リスト、基礎図、詳細図等が残されている。鉄筋コンクリート・ラーメン構造である。配筋状況を現行規定と比べると、柱フープ筋間隔は現行より広く、梁スタラップ筋間隔は一部が現行より広い。床はほぼ現行規定を満たすがシングル配筋である。

2.4 電気・機械設備計画

第一寄宿舍(現西寮)地下の電気室から地下ピットを経て各棟の縦経路、そして各階分電盤へ至る。



写真1 竣工(1931年)当時の第二号寄宿舍 出典:参考文献3)

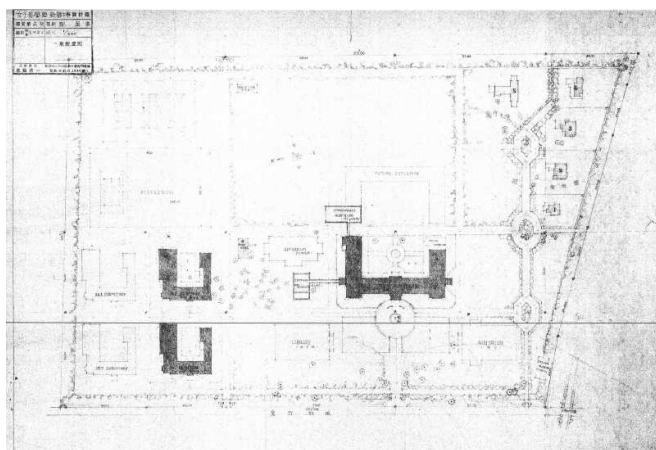


図1 実施設計配置図(1930.2) 図面右が南 所蔵:津田塾大学

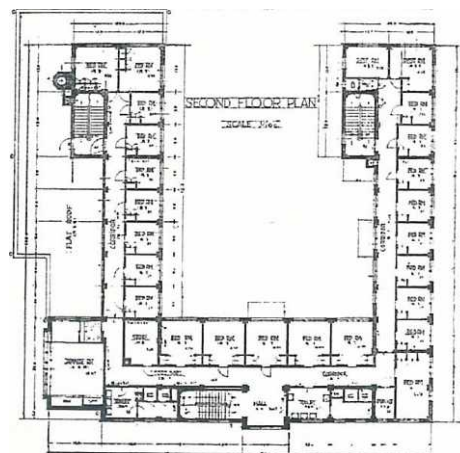


図2 竣工時2階平面図 図面右が南 出典:参考文献3)

The report on the dormitory of Tsuda College completed with RC in early Showa era.

*Shinji YAGI, **Nami MIYAKE

トイレは水洗式。ポンプ室、浄化槽は別棟で建設されている（実施図面有）。暖房熱源は、第一寄宿舎地下のボイラー室からピット経由で各棟各室へ給湯されている。

2.5 防災計画

鋼製扉がコの字平面を3つに区画する位置と階段に設けられている。佐藤の他建物の防火戸配置と考え方が一致しており、防火区画が意図されていたと考えられる。

3. 現在の利用状況

3.1 平面（用途変更）

次の変更を除き用途・間仕切に著しい変更はない。自炊化に伴い厨房および居室の一部が共同台所に、他、水回りが改修されている。応接室壁を撤去し、ロビーとなったが漆喰壁の改修痕がない。初期改修の可能性がある。

3.2 外装・内装

現在、壁は吹付タイル、うち、1階窓下は石調である。窓はアルミに交換されている。内装は、壁天井は塗装を更新、モルタル等の硬質床材は継続利用、廊下床はフローリングに、居室、水回りはシートに交換されている。

3.3 構造・防災・設備

耐震改修不要（一次診断）、防火区画は既存不適格状態だが、既存鋼製扉の利用で意匠に大きな影響なく是正可能と思われる（2.5 参照）。電気室は別棟で改築、暖房熱源は電気（EHP）に交換。ポンプ室は改築（移設）、浄化槽は撤去（公共下水）。浴室、トイレは全面改修されている。

4. むすび

寄宿舎2棟の主要空間（廊下、個室）では、用途・内装は維持され、外観形状も維持されている。背景として、寄宿舎生活も教育の一貫とする方針が維持されてきたことが考えられるが、後続寮では改築が繰り返されており、これだけでは説明できない。寮生の印象記（2.2 参照）からは、寄宿舎が精神的役割も担ってきたことが推察される。

このように、大学寄宿舎の歴史を伝える限られた建築物であり、かつ、津田塾大学の精神を伝える建築物であると言える。このことは大学のアイデンティティを強化することを意味しており、使い続ける価値は高い。

謝辞

施設資料を整理保管している津田塾大学管理課の利根川恵子課長から様々なご支援いただいたことをここに記し、謝意を表します。なお、構造、設備図の理解には佐藤総合計画の森、本間、松村、各氏に助力をいただいた。

注

1) 慶応義塾大学日吉寮は継続利用、日本女子大学では用途変更、学習院大学では民間企業施設へと変化。

2) キャンパス計画は当初アメリカ人建築家が担い、その後、佐藤功一が受けたことは参考文献 1) に、当初案は参考文献 5) に示されている。また、参考文献 6) では当初案と佐藤案の関係について考察されている。

3) 参考文献 1) p171 に引用されている「会報」第 36 号、1931.11 にある寮生の印象記より。

参考文献

- 1) 津田塾大学 100 年史編纂委員会編、津田塾大学 100 年史、2003
- 2) 津田塾大学創立 90 周年記念事業出版委員会編、梅子と塾の 90 年、1990 年
- 3) 建築世界社、建築世界 23 巻 6 号、1932.6
- 4) 建築雑誌 45 巻 551 号、p1826、1931.11
- 5) Ethan Anthony, The architecture of Ralph Adams Cram and his office, 2007
- 6) 横手義洋：建築家ラルフ・アダムス・クラムの津田塾大学キャンパス計画に関する研究、日本建築学会計画系論文集 NO.671 P.143 2012.1

表1 津田塾大学寄宿舎（現東寮・西寮）建物概要

設計・竣工	設計: 佐藤功一		竣工: 1931年			
	階数	建築面積	延床面積	標準寮室面積	標準寮室定員	
規模	地上3 地下1*1	711.8m ²	1,936.3m ²	8.3m ²	2人	
構造	鉄筋コンクリート造、ラーメン構造（壁配置・配筋等不明）、直接基礎（独立基礎）					
基準間口	南北方向		東西方向		最大	
	4,850	3,640	2,730	2,730	7,580	
主要外装	旧	外壁	コーニス	窓	屋上	備考
	現	吹付タイル	吹付タイル	アルミ引違	シート防水	塗膜防水
主要内装	旧	玄関	硬質タイル 幅木:タイル	タイル 欄間部漆喰	漆喰ベンキ	外部扉:鋼製エ メル木目塗
	現	玄関	維持	維持(再塗装)	維持(再塗装)	単色塗装
	旧	広間・応接室	着色モルタル 幅木:タイル	漆喰ベンキ 腰:刷毛引ベンキ	漆喰	腰ボード: タイル
	現	ロビー	維持	維持(再塗装)	維持(再塗装)	維持
	旧	階段	人造石研出し 幅木共	腰:コルクスト モルタル 洗出ベンキ	漆喰	笠木: 人造石研出し
	現	階段	維持	維持(再塗装)	維持(再塗装)	維持
	旧	個室	米松縁甲板 幅木:米松スライ ク	漆喰ベンキ	漆喰	窓内側に網戸 長押部:ホ ーダー
	現	個室	ビニルシート(交換)	維持(再塗装)	維持(再塗装)	窓アルミに交換
	旧	廊下	確認できず	漆喰ベンキ 腰:木製	漆喰	-
	現	廊下	フローリング(交換)	維持(再塗装)	維持(再塗装)	-
	旧	社交室	櫛縁甲板スライ ク 幅木:櫛スライ ク	トマテックス 腰:櫛合板スライ ク	漆喰	暖炉:大理石
	現	サロン	フローリング(交換)	布クロス(一部維持)	維持(再塗装)	維持
	旧	食堂	櫛縁甲板 幅木:タイル	ラフコート 腰:タイル	ラフコート アーチ状梁	80席 (3交替300食)
	現	食堂	ビニルシート	維持(再塗装)	維持(再塗装)	-
	旧	厨房(賄い用)	防水モルタル	漆喰ベンキ 腰:防水モルタル	不明	機器図有り
現	厨房(自炊用)	防滑シート	塗装	塗装	機器全交換	
旧	浴室	モザイクタイル	白セメント 2寸5分角タイル	レッドウッド ベンキ 竹押縁	洗い場6席 最上部にカ リ	
現	浴室	50角タイル	100角タイル	バスリブ	浴槽:設備交換	
旧	トイレ	モザイクタイル	漆喰 2寸5分角タイル	漆喰	木部はレッド ウッド ベンキ	
現	トイレ	ビニルシート	100角タイル	ボード塗装	-	
電気設備	旧	受変電(地階電気室) 受電6600V 単相150KVA 三相30KVA 電灯(5~6室/回路、60W、100Wが主)、コンセント(4室/回路)、避雷設備、電話設備、電鈴設備				
機械設備	旧	熱源設備:石炭ボイラー(地階にボイラ室)				
	旧	暖房設備:温水ラジエーター(ボイラー室から地中ピット経由で各室へ)				
厨房設備	旧	給水設備:ポンプ棟から給水				
	旧	排水設備:敷地内コンクリート浄化槽(トイレは水洗)				

*1:第一寄宿舎(現西寮)のみ地下1階(電気室、ボイラー室) *2:第一寄宿舎の面積

*佐藤総合計画, 博士(工学)

**佐藤総合計画

*AXS SATOW INC., Dr eng.

** AXS SATOW INC.